

皆さん、こんにちは。今年度、八王子の高尾にある都立翔陽高校から本校に着任しました校長の石丸昌延と申します。どうぞよろしくお願いいたします。

私は、異動内示があった3月以降、本校に着任するまでの期間、期待と不安でいっぱいでしたが、この4月に着任してからは、本校の生徒が生き生きと活動する姿や、先生方が新年度の準備に向けて、各所で御尽力されている姿を拝見し、その不安が一気に解消しました。

体育館でプレーをするバレーボール部やバスケットボール部は、練習の途中にも関わらずプレーを中断し、「こんにちは」と元気よく声をかけてくれました。校長室前から保健室側突き当りを見ると、半開した扉が絵画キャンバスのようになり、その向こうに見えるハンドボール部の皆さんが、現れては消え、消えては現れる姿が、とてもみずみずしく感じられました。すれ違いざまに笑顔で会釈をする生徒、顧問の先生の話真剣なまなざしで聞き入る生徒など、あいさつができ、人の話もしっかり聞ける生徒がたくさんいると感じました。階を上がるにつれ、明瞭となる管楽器の音色、遠方から聞こえる威勢のよい掛け声、これらの音は、大きなエネルギーとなって、私の琴線に触れてきました。

施設は清潔で明るく、階段には「左側通行」という気の利いた表示が掲示されており、他人に気配りができる学校だと感じました。

こんな素晴らしい保谷高校の一面を目の当たりにした私は、わずか数日でこの学校が大好きになりました。私も生徒の皆さんや先生方から大きな刺激を受けつつ、日々、成長し続けたいと決意する次第であります。

話は変わり、皆さんは、「なぜ人は学ぶのか」、砕けた言い方をすれば、「どうして勉強しなければならないの?」と思ったことは少なからずあると思います。

「進学のため」、「豊かな人生を過ごすため」、「人と人のコミュニケーションを円滑にするため」、「正しく判断できるようになるため」といった様々な理由が考えられます。その中で今日は、勉強を「自分」という視点からではなく、もっと大きな視点から考えてみたいと思います。

私は「どうして勉強しなければならないの?」と質問をされたとき、逆に「では勉強しなくなったらどうなるの?」と答えるようにしています。

「勉強しなくてもよい」

このことが、人類共通に真であるとするならば、人はもはや勉強する必要がありません。すると社会は、文字や言葉、数字や計算を理解できない人たちで構成されることになります。もちろん、これは極論であることを補足しておきます。

そんな社会を想像してみましよう。医者はいなくなり、車や携帯電話の製造方法も理解

できなくなるでしょう。電車、飛行機の操縦もわからない、なぜ朝が来て夜が来るのか、なぜ雨が降るのか、だれも説明できなくなるでしょう。病気の原因がウイルスであることもわからず、ただ祈ることだけで病気を治そうとするかもしれません。シェークスピア、モーツァルト、ピカソなどの芸術作品は理解されず、その価値は評価されなくなるでしょう。「左側通行」という文字は、文字であるということすら認識されないかもしれません。それは単なるデザインまたは落書きとして認識されるのではないのでしょうか。これはゆゆしき事態です。これが一体、真と言えるのでしょうか。

私たちのこの豊かな生活は、過去の人々の研究や発見、発明の恩恵を受けて成り立っています。つまり過去の人々の学びによって支えられているのです。

もし私たちが学びを止めてしまえば、社会は衰退の一途をたどり、文字がなかった原始時代のような社会になることでしょう。

私は、そうならまずいと考えていますし、実際、世の中は、様々な分野で、知識・技術を次の世代に継承することを、とても大切にしています。

先行きが不透明で、将来の予測が困難な VUCA の時代と言われる今日、社会機能の維持だけにとどまらず、より豊かで人間的な社会を構築するには、先進技術の開発や新しい発見もさながら、過去の文化的・学術的財産を学ぶ必要があるのだと私は感じています。今日は「なぜ人は学ぶのか」という理由を個人からの視点ではなく、社会からの視点で考えてみましたが、もちろん、「私は、社会機能を維持するために勉強をします」と言う人はほとんどいません。しかし、人に学びが必要な理由の一つに、このような側面もあることを頭の片隅に留めおいてほしく思います。

人が学ぶ理由は、考えればいくつも挙げられますが、もっと言ってしまえば、「学びのない人生ほどつまらないものはない」と言っては言い過ぎでしょうか。

さて皆さん、新年度、進級おめでとうございます。新しい生活の始まりですね。皆さんのより一層の成長と活躍を期待しています。もし困ったり悩んだりしたときは、先生やスクールカウンセラー、友達や保護者の方にお話ししましょう。人に話すことで気が楽になることもありますし、何か解決の糸口が見つかるかもしれません。

3年生の皆さん、いよいよ受験です。本腰を入れて勉強に取り組む一年になることでしょう。勉強がわからなかったら、どんどん先生を頼りましょう。わからない部分は放置せず、理解できるまであきらめないでください。何度も取り組めば、きっと理解できるようになるはずです。期待しています。

最後になりますが、今年一年、本校の生徒全員が大いに学び、学校行事、部活動を全力で楽しみ、健康で充実した日々を過ごせるよう切に願っています。

都立保谷高等学校長 石丸昌延